

83政治決戦

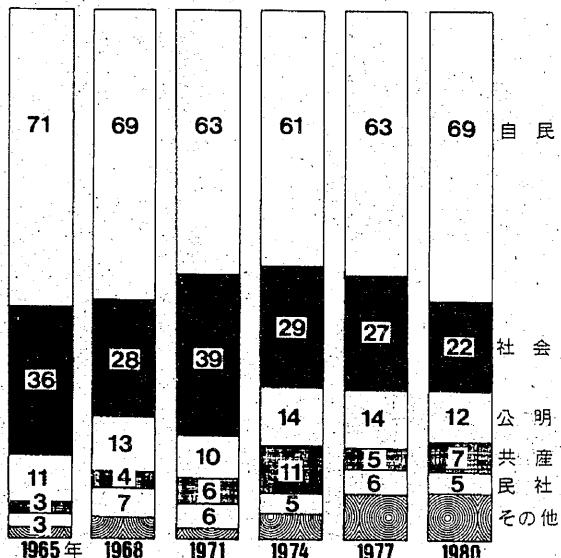
いよいよ参院選へ

衆院選が前回、一九八〇年の選挙では自民党が得票率を全国区、地方区とも四〇%台にのせ、議席も増やしました。この選挙は史上初めての衆参ダブル選挙で、野党団は乗って、軍拡・増税を進めることの立ちはれ、選挙中の大平首相の急死によって自民党に同情票が集まつたことなど、衆参両院ともに自民党的勝利に終わります。

いっせいの地方選も終わり、いよいよ参院選へ突入します。六月三日公示、二十六日投票が予想されますが、自民党的悪政を許さず革新勢力の勝利めざして頑張りましょう。

参院選挙で特徴的なのは、自民党が選挙ごとに得票率、議席を減らすことで反国民的政策を生んでいます。

参院選挙党派別獲得議席の推移(1965~80)



自民党の悪政許さず

いっせいの地方選も終わり、いよいよ参院選へ突入します。

今年の春闘は三井、三菱、太平の三社先行闘争で三月十五日から五回の中闘による交渉に統じて、一方当たり百五十円という第一次回答にわずか二十五円の上積みという、炭労労働者の生活と労働の実態を無視した超低額で六日午後八時十分妥結し、予定していた七日の二十四時間ストライキを中止しました。

炭労の春闘は人並みの賃金獲得をめざし、一方当たり四百九十五円(七ペーセント)を要求してたたかいましたが、五月四日の一方当たり百五十円という第一次回答にわずか二十五円の上積みという、炭労労働者の生活と労働の実態を無視した超低額で六日午後八時十分妥結し、予定していた七日の二十四時間ストライキを中止しました。

超低額、百七十五円で妥結

現場では不満、怒りの声渦まく

83春闘

経過

炭労の春闘は人並みの賃金獲得をめざし、一方当たり四百九十五円(七ペーセント)を要求してたたかいましたが、五月四日の一方当たり百五十円(七ペーセント)を加給する。加給額中五十八円四十九銭を支給する。上昇率は二・四ペーセント。

妥結の判断

家族手当を第一順位のみ三千百円増額し、月額八千二百円(税込)とする。

最低賃金

最低賃金額を百七十五円増額し、内員五千四百十三円、坑外員四

障害見舞金

障害見舞金を有扶十万円その他七万円を増額し、有扶百五十万円を増額する。(各税込)

金を増額する。(各税込)

協定期間は昭和五八年四月一日より五十九年三月三十一日までとなっており、協定期間以外の事項は前協定通りです。

改定

改定

改定